

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 全産業活動指数(2011年3月)

発表日2011年5月20日(金)

～震災の影響で1-3月期は前期比▲2.0%と2四半期連続のマイナス～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 エコノミスト 小杉 晃子
TEL : 03-5221-4548

(単位:%)

		全産業活動指数											
		前期比		前年比		第3次産業活動指数		鉱工業生産指数		公務等活動指数		建設業活動指数	
		前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比
09	1-3月	▲6.3	▲11.1	▲3.1	▲6.6	▲20.0	▲34.6	0.2	▲0.3	▲0.5	▲1.1		
	4-6月	1.1	▲9.3	▲0.6	▲6.1	6.5	▲27.4	▲0.2	▲0.1	▲2.0	0.1		
	7-9月	1.1	▲7.0	0.6	▲4.7	5.3	▲19.4	0.1	0.7	▲6.2	▲6.4		
	10-12月	0.1	▲3.7	▲0.3	▲3.4	5.9	▲4.3	0.0	0.1	▲5.3	▲13.5		
10	1-3月	1.3	3.9	0.7	0.8	7.4	28.0	▲0.4	▲0.5	0.7	▲12.4		
	4-6月	0.8	3.5	0.4	1.4	0.7	21.3	▲0.2	▲0.7	▲0.9	▲11.3		
	7-9月	0.7	3.2	0.6	1.8	▲1.0	14.0	0.0	▲0.6	1.9	▲3.2		
	10-12月	▲2.0	2.1	0.3	1.6	▲0.1	5.9	▲0.3	▲0.8	▲1.8	▲0.6		
11	1-3月	▲0.2	▲0.6	▲1.3	0.0	▲2.0	▲2.5	0.2	▲0.4	▲0.5	▲1.7		
09	1月	▲1.3	▲9.0	▲0.1	▲4.5	▲8.4	▲30.9	▲0.2	▲1.0	▲0.7	▲1.5		
	2月	▲3.7	▲12.5	▲0.7	▲7.4	▲8.6	▲38.6	0.3	0.8	▲0.1	▲1.1		
	3月	▲1.0	▲11.7	▲3.4	▲7.7	2.2	▲33.8	0.2	▲0.8	▲0.5	▲0.9		
	4月	2.4	▲10.0	2.0	▲6.2	4.5	▲31.0	▲0.6	▲0.9	0.2	0.9		
	5月	0.9	▲10.0	▲0.2	▲7.1	4.6	▲29.0	0.5	1.2	▲1.6	1.0		
	6月	0.3	▲7.9	0.2	▲5.1	1.5	▲22.5	▲0.3	▲0.8	▲2.5	▲1.3		
	7月	0.5	▲8.0	0.5	▲5.3	1.1	▲22.3	0.2	0.6	▲2.5	▲3.5		
	8月	0.0	▲6.3	0.2	▲4.1	1.5	▲18.3	▲0.2	0.4	▲1.5	▲6.5		
	9月	0.1	▲6.7	▲0.3	▲4.7	1.8	▲17.5	0.1	1.3	▲1.9	▲8.8		
	10月	0.2	▲6.1	0.2	▲4.4	1.5	▲14.4	▲0.2	0.5	▲1.0	▲10.5		
	11月	▲0.2	▲3.3	▲0.2	▲3.0	2.6	▲2.9	0.2	▲0.5	▲3.6	▲14.5		
	12月	▲0.3	▲1.6	▲0.7	▲2.7	2.6	6.4	0.2	0.3	▲0.4	▲15.3		
10	1月	1.7	2.1	1.9	0.2	3.4	18.2	▲0.7	0.2	0.7	▲14.4		
	2月	▲0.1	4.5	▲0.4	0.4	1.7	33.1	0.2	▲0.4	4.0	▲9.6		
	3月	▲0.2	5.1	▲1.1	1.9	0.1	32.4	▲0.1	▲1.3	▲3.6	▲13.0		
	4月	0.9	4.3	1.6	1.9	0.6	27.0	▲0.2	▲0.4	▲3.1	▲17.0		
	5月	0.0	3.4	▲0.3	1.2	▲0.1	20.7	0.0	▲0.9	6.3	▲8.1		
	6月	0.2	3.0	0.1	1.0	▲1.5	16.6	▲0.1	▲0.7	▲2.1	▲8.3		
	7月	1.1	3.3	0.7	1.6	0.3	14.6	0.1	▲0.1	0.8	▲5.3		
	8月	▲0.5	3.8	0.1	2.3	▲0.1	15.5	0.1	▲1.1	1.6	▲1.7		
	9月	▲0.4	2.7	▲0.4	1.3	▲0.8	12.1	▲0.1	▲0.6	▲1.9	▲2.8		
	10月	0.0	1.3	0.2	0.5	▲1.4	5.0	▲0.1	0.3	0.1	▲1.1		
	11月	0.3	2.7	0.6	2.5	1.6	7.0	▲0.4	▲1.9	▲1.4	▲0.5		
	12月	0.1	2.1	▲0.2	1.8	2.4	5.9	0.3	▲0.7	▲0.5	▲0.5		
11	1月	▲0.5	1.4	▲0.1	1.1	0.0	4.6	0.0	▲0.5	2.3	1.3		
	2月	0.7	1.8	1.0	2.1	1.8	2.9	0.1	▲0.4	1.4	▲0.4		
	3月	▲6.3	▲4.5	▲6.0	▲2.9	▲15.5	▲13.1	0.0	▲0.3	▲8.6	▲5.7		

(出所) 経済産業省「全産業活動指数」

○ 全産業活動指数：前月比▲6.3%

3月の全産業活動指数は前月比▲6.3%と、ほぼコンセンサス(同:▲6.1%、レンジ:同▲9.7%~▲5.0%)通りの結果となった。

内訳別にみると、震災の影響を受け大きく落ち込んだ第3次産業活動指数(前月比寄与度:▲3.97%ポイント)や鉱工業生産指数(同:▲2.91%ポイント)が全体を大きく押し下げたほか、建設業活動指数(同:▲0.40%ポイント)もマイナスに寄与しており、公務等活動指数のみが横ばいに留まった。3月の震災の悪影響が経済活動の大幅な低下に繋がっている。

四半期ベースでも、1-3月期は前期比▲2.0%と10-12月期に引き続きマイナスとなった。

○ 鉱工業生産指数、第3次産業活動指数ともに大幅に悪化

個別にみると、鉱工業生産指数は前月比▲15.5%であった。被災地における生産設備毀損やサプライチェ

ーンの寸断、電力不足などの悪影響が重なり、落ち込み幅は過去最大となった。業種別にみても、16業種すべてがマイナスとなり、特にサプライチェーンに対する依存度が高い輸送用機械や一般機械などの加工業種の落ち込みが大きかった。

また、こうした震災の影響による生産の減少や停電に伴う工場の操業停止・店舗の営業時間の短縮、自粛ムードの広まりなどを背景に、第3次産業活動指数も前月比▲6.0%と大幅に悪化した。

さらに、建設業活動指数も、住宅建設の中止・延期や公共投資の減少などを背景に民間・建設・土木活動指数、公共・建設・土木活動指数ともに低下した結果、全体では前月比▲8.6%と3ヶ月振りのマイナスとなった。

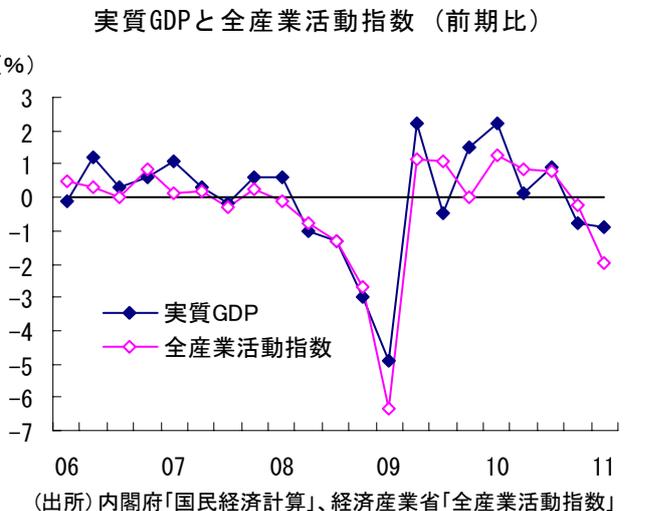
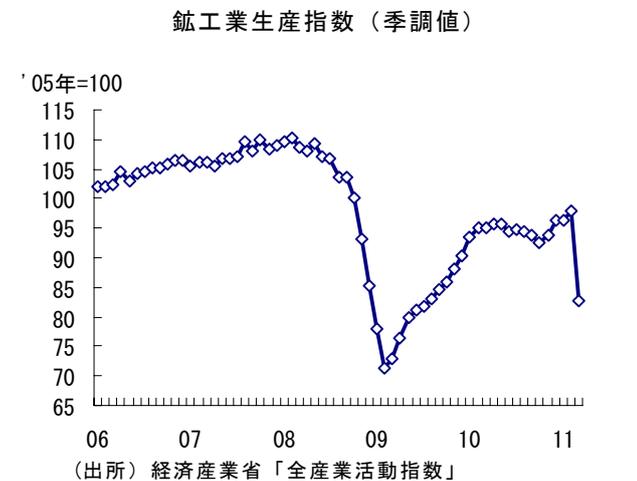
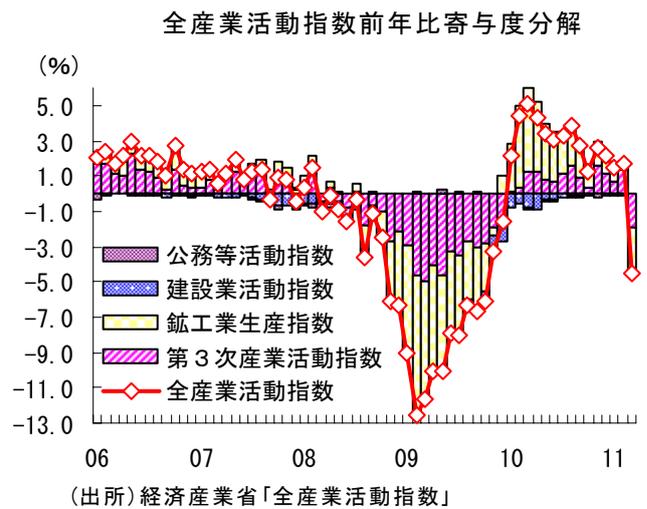
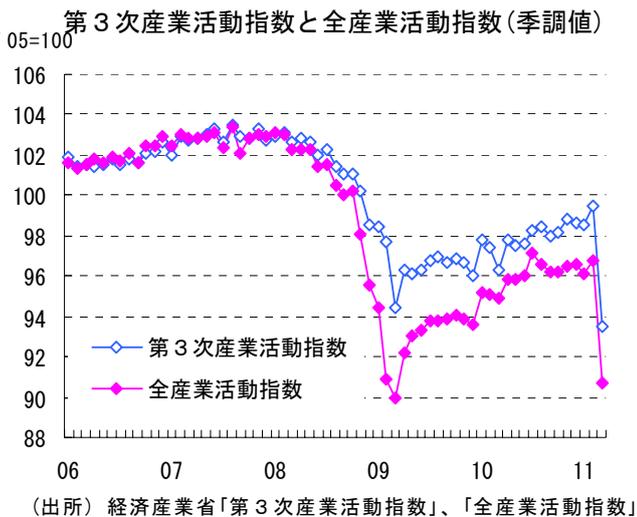
○ 先行きも当面回復力に乏しい動きが予想され、低水準での推移が続くだろう

1～2月の日本経済は、海外経済の回復を背景とした輸出の増加や、雇用・所得環境の持ち直しなどに伴う個人消費の緩やかな回復などから、昨年秋以降の足踏み状態をほぼ脱しつつあった。しかし、震災が発生した3月以降、経済活動は急速に落ち込み、こうした流れは完全に途切れてしまった。

先行き第3次産業活動指数については、消費者の自粛ムードの和らぎなどから、一部の業種では持ち直しが見込めるが、今後も供給制約による自動車販売の落ち込みなどが下押しに寄与しよう。

加えて鉱工業生産指数も、予測指数からは4月、5月ともに上昇が見込まれているものの、サプライチェーン寸断問題の解消がすぐには見込めないことに加え、夏には電力不足による制約も予想されることなどから、震災前の水準を回復するには時間がかかろう。

以上を踏まえると、全産業活動指数は当面回復力に乏しい動きが予想され、低水準での推移が続くだろう。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。